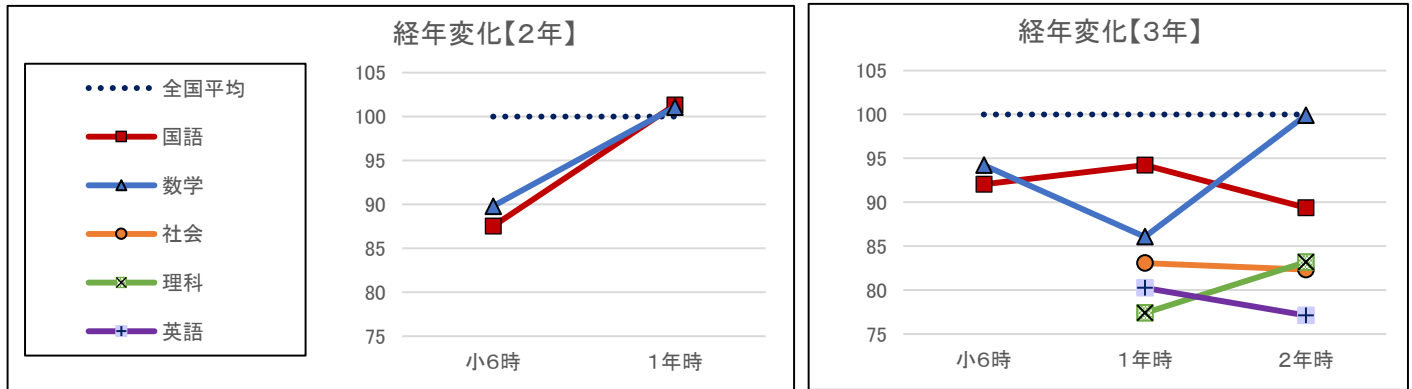


I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

① 標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）



② 学校の状況

【標準学力検査 生活行動・学習活動調査 国語（中2・中3）】

- ・「新聞記事などを、自分の考えと比べながら読んでいる」や「話し合いで、自分の考えを積極的に話している」の項目の数値がとて低くなっている。
- ・「分からない言葉があれば、辞書を引いている」の項目の数値がとて低くなっている。

【標準学力検査 生活行動・学習活動調査 数学（中2・中3）】

- ・「数学の授業で習ったことは復習をしている」の項目の数値が低くなっている。

【標準学力検査 生活行動・学習活動調査 生活行動（中2・中3）】

- ・「朝食は、家の人といっしょに食べている」の項目の数値が低くなっている。
- ・「自分で勉強の計画を立てて勉強している」の項目の数値が低くなっている。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟度別少人数指導（数・英）を行い、個に応じた指導を継続していく。 ・ 本時のねらいや目標を明確にして、身に付けさせたいことがはっきりしている授業づくりをする。 ・ 問題や課題に対して、自分の考えや疑問をもたせ、その考えや疑問を共有し、解決を目指していく授業づくりをする。 ・ 授業をまとめたり、振り返ったりして、学習内容を整理して習得につなげる時間を確保する。 ・ 学習内容の習得が実感できるように終末に個人で取り組む時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての教科で学習規律を意識して授業を行っていくことで、授業中の望ましい姿勢や「話すこと」「聞くこと」「書くこと」について共通のルールで生徒の育成を図っていく。 ・ 個人で考える場面とみんなで話し合っって考えを練り上げる場面の切り替えをしつかりできるようにしていく。 ・ 発言に対して共感的な態度を示したり、わからなくて困っていることをみんなで共有したりすることができるような雰囲気づくりをして、対話的な学びを充実させるための素地を養っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝活動として、朝読書や朝学習の取組を計画的に行っていく。 ・ 授業の内容と関連付けて、宿題を効果的に出していく。 ・ 【家庭学習記録表】を活用して、その日の家庭学習の計画を簡単に記入させて、取り組み状況を振り返ることができるようにする。 ・ 家庭学習の方法として「繰り返し学習」「まとめて整理する学習」などを紹介し、すべての生徒が学習方法を知った上で、自分に合わせて工夫することができるようにする。

② 各教科での指導の重点

国語科の重点	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙量の充実を意識した漢字学習 ・ 文法事項の反復練習 ・ 文章の読み込みのための手立ての充実 ・ 情報の取り扱いについて、情報メディアや関連デバイスの活用を通して習得する工夫を図る。 ・ 文章の読み込みでの目的を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長文から中心文を見つける活動を行う。 ・ 文章を書く際の根拠を意識した個人思考を支援する ・ 一時間ごとの授業での振り返りの工夫

数学科の重点

- ・生徒に問題を見いださせる提示の工夫
- ・解決する必要性を実感できる課題設定
- ・予想を取り入れた個人思考
- ・自分の考えや疑問を表明する場の設定の工夫
- ・生徒の考えを把握して集団思考につなげるための机間指導をしっかりと行う。
- ・学習内容の概念的理解につなげていくために生徒の考えや解き方に対して適切に問い返していく。
- ・生徒達の共感的理解を得ながら問題を解決し、まとめにつなげていくための工夫
- ・学習内容が身に付いたと実感できるような授業の終末部分の工夫

社会科の重点

- ・関心を高める課題設定の工夫
- ・生徒の発言を活かし、思考の流れを重視して組み立てる授業。
- ・学習内容を精選し、知識の定着まで図る時間配分の工夫。
- ・自分の考えや疑問を表現する場の設定。
- ・振り返りの時間を設定し、その時間に学習したことを意識する場の設定。
- ・「わかったつもり」から「本当に理解した」になるための終末の工夫。
- ・生徒の理解度を毎時間把握し、次時の授業に活かす。

理科の重点

- ・身近な現象を例に教科書の内容につなげる導入の工夫
- ・なぜだろう、実験で確かめてみたいと思えるような導入の工夫
- ・実験の内容や操作を子どもが考えられるような余地を作っておく
- ・事故・ケガのない実験指導
- ・考察の時間・自己表現の時間確保
- ・結果の交流による実験の妥当性の確認
- ・実験方法の再検討・再実験
- ・学習内容の定着を目的とした練習問題に取り組む時間の確保
- ・綿密な授業計画・板書計画

英語科の重点

- ・その日の授業で「何をするか」の課題の明確化
- ・英語を使用する「目的・場面・状況」設定の工夫
- ・生徒が「やってみよう」と興味・関心を高める教材、教具の使用
- ・生徒同士のコミュニケーションや、自分の考えを表現する場面設定
- ・「わかった」「できた」ことを実感できる振り返りの時間の工夫
- ・学習内容の定着を図るための家庭学習指導

音楽科の重点

- ・幅広いジャンルの音楽を取り上げることで、生徒の興味関心の幅が広がるよう努める。
- ・授業の終わりに振り返りを記入させ反省と課題の確認を行い、発表の場を設ける
- ・タブレット端末を活用し、説明や奏法、リズム、音程を視覚・聴覚の両面から理解できるようにする。
- ・鑑賞の学習では、根拠を持って批評し、感じ取った音楽の美しさを自分自身の言葉で表現できるようにする。
- ・表現（歌唱・器楽）の学習ではタブレット端末に演奏の記録を蓄積し生徒自身が自己の取り組みの成果を客観的に捉えることができるようにする。

保健体育科の重点

- ・保健体育の授業のある日の朝の読書・学習の時間に実技の副教材、保健の教科書を読書したり、保健のワークをまとめたりするなど知識を習得させる。
- ・授業の終末に反省や課題を発表する場を設定する。
- ・授業週末に反省と課題の発表の場を設ける。
- ・タブレットで動きを理解できるようにする。
- ・本時の学習の振り返りの場面では、各自やペア、グループ内での達成や達成できなかった部分、次回の努力、工夫点などしっかりまとめられ、振り返りシートに記入できるよう取り組む。
- ・保健のワークを自分の力でまとめ、振り返られるよう時間を確保する。

美術科の重点

- ・振り返りの場を設け、学んだことや今後の課題などをまとめ、次回の授業に繋げる
- ・タブレット端末を活用し、調べ作業を行うことで、アイデアの幅を広げる
- ・道具の正しい使い方を指導と声かけを行い、怪我のない活動に努める
- ・絵画や工作をバランスよく取り入れ、さまざまな美術作品に触れさせることで、美術への興味関心の幅を広げる
- ・グループ作業の場を作り、共に学び、理解を深め合う授業作りの工夫

技術・家庭科の重点

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(技術科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習や観察・実験等、具体的な活動を通じた学習。 ・ICT機器を活用して生徒の思考の流れを可視化したり資料提示を行い効果的な学習を実施する。 ・グループワークや話し合い活動を多く取り入れ、課題解決型の能動的学習の取り組みをする。 | <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で「何をするか」の課題の明確化 ・自分の考えを表現する場面設定 ・生徒がイメージしやすいような教材・教具の工夫や、拡大機などを活用し、視覚的に学習する場面設定 ・実習や観察等、具体的な活動を通じた学習 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|